このたび奥様の訃報に接し、お慰めする言葉もございません。

以前よりお体が丈夫でないことは伺っておりましたが、こんなに早く逝ってしまわれるとは、いまだに信じられません。

お坊ちゃまもまだ幼く、奥様もどんなにお心残りでしたでしょう。

そして何よりあなたのご落胆を思いますと、たまらなく胸が痛みます。

ご看病のお疲れと悲しみの深さがお体に障りませぬよう、くれぐれもお気をつけてくださいませ。

　ご霊前にお花をお供えいただきたく、わずかですが同封させていいただきました。

　奥様のご冥福をお祈り申し上げつつ、筆をおきます。

合掌